

公益財団法人セゾン文化財団

<現代演劇・舞踊対象>公募プログラム

2022.4-2023.3 に実施される活動・事業対象

募集要項

2022

公益財団法人

セゾン文化財団について

セゾン文化財団は堤清二（1927-2013）の私財によって設立された助成型財団です。1987 年より日本の現代演劇・舞踊の振興およびその国際交流の促進に寄与するため、助成活動を行っています。当財団は右記の基本方針をもって支援活動を展開しています

創造活動への支援

- ・個々の公演ではなく、創造のプロセスを総合的にサポートしています
- ・新しい表現の探求と活動のステップアップに支援の重点を置いています

長期的視点に立った継続的な支援

- ・単発ではない、複数年にわたる助成を原則としています
- ・助成先との緊密なパートナーシップにもとづいた支援活動を志向しています

資金のみではない複合的な支援

- ・創造活動や学び合いのための「場」を提供しています
- ・団体の法人化、会計など活動運営に関する相談に応じます

当財団が所有運営する**森下スタジオ**ではセミナー、レジデンス事業、創作過程の一部を見せるショーイングなどが行われています。

最新情報については、財団ウェブサイトをご覧ください <https://www.saison.or.jp/>

<現代演劇・舞踊対象>

公募プログラム概要

2022 年度

助成対象期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日に実施される事業

森下スタジオ使用期間

2022 年 4 月 5 日～12 月 28 日および、2023 年 1 月 4 日～1 月 31 日

申請概要 p.14-18

森下スタジオについて

p.19-21

セゾン・フェロー p.2

現代演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家の創造活動を支援対象とする助成プログラム

サバティカル（休暇・充電） p.4

サバティカル期間を設け、海外の文化や様々な芸術に触れることを目的とする助成プログラム

創造環境イノベーション p.6

現代演劇・舞踊界が現在抱えている課題を明らかにし、その創造的解決を目指す取り組みに対する助成プログラム

-寄付プログラム-次世代の芸術創造を活性化する研究助成 p.8

次世代の芸術創造を活性化する提案や、政策提言を目的にした調査、研究活動を支援する助成プログラム

国際プロジェクト支援 p.10

海外パートナーと共に、日本の舞台芸術の国際化を目的とした助成プログラム

予告 p.12

渡航費支援 フライト・グラント

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス

セゾン・フェロー I

セゾン・フェロー II

現代演劇・舞踊界での活躍が期待され、劇作、演出、振付に対する優れた構想と実績をもつ芸術家の創造活動を支援対象とする助成プログラム

申請書交付申し込み期間

8月2日～9月22日

面談期間 ～9月29日

申請書および資料提出締切

～9月30日

対象者：

I 独自で斬新な発想、実験精神が認められる作品創作、活動を継続しており、次代を担うことが期待される芸術家

※採択は計3回迄

- a. 日本に活動拠点を置く
- b. 2022年3月31日時点で**40**歳以下
- c. 過去3作品以上で劇作、演出、振付を担っている

II 独自で斬新な発想に基づいた活動に対する一定の評価を得ており、国際的な活躍と社会的影響力を持つことが期待される芸術家

- a. 日本に活動拠点を置く
- b. 2022年3月31日時点で原則**45**歳以下
- c. 過去3作品以上で劇作、演出、振付を担っている
- d. 下記、一つ以上の要件を満たす

当財団の助成歴がある（フライト・グラント除く）／受賞歴がある／海外の著名なフェスティバル(メイン部門)・劇場から招聘歴がある

助成内容：

・セゾン・フェローが直接かわる舞台芸術の活動に対して助成金を支給する

・希望者には公演稽古、ワークショップ開催などの場として森下スタジオ（スタジオ、ゲストルーム）を優先貸与

・活動に関する情報提供が受けられる

※継続支援・継続の可否は毎年見直す（継続申請については事務局の案内に従うこと）

I： 100万円/年 2年間継続

II： 250万円～300万円/年 3年間継続

但し II に新規採択された場合（助成歴なし）

II： 100万円～300万円/年 4年間継続

提出資料：

- ① 所定の申請書（最近の主要な公演の映像資料含む）
- ② 劇評（新聞、雑誌、ウェブサイト上での批評）
- ③ 顔写真（採択された場合は、広報資料として使用）

II: のみ

- ④ エッセイ「演劇／舞踊活動における私のビジョン」
（2,000字程度）

サバティカル

(休暇・充電)

現代演劇・舞踊分野で継続的に作品を発表し、一定の評価を受けている芸術家がサバティカル（休暇・充電）期間を設け海外の文化や様々な芸術に触れてもらうことを目的としたプログラム

対象者の体験報告は、
ニュースレター<viewpoint>
に掲載しています

申請書交付申し込み期間

8月2日～10月7日

面談期間 ～10月13日

申請書および資料提出締切

～10月14日

対象者：

日本を拠点に劇作、演出、振付などの芸術家として10年以上の実績を有する、一か月以上の海外渡航を希望する個人。2022年4月～2023年3月の間に、活動を振り返り、今後の展開のヒントを得たいと考えている方を優先します。既に実施することが決定しているプロジェクトのための渡航（公演開催地の下見や打ち合わせ）は対象外

助成内容：

100万円を上限に、渡航・滞在費用の一部に対して助成金を交付

提出資料：

- ① 所定の申請書
(エッセイ「なぜ旅に出たいのか」A4サイズ1枚含む)
- ② 申請者の詳しい経歴 ※近年の実績を示す受賞歴、劇評など添付
- ③ 計画書
- ④ 予算書
- ⑤ 顔写真（採択された場合は、広報資料として使用）

創造環境

イノベーション

現代演劇・舞踊界が現在抱えている課題を明らかにし、その創造的解決を目指す事業に対する助成プログラム

※賞設立は対象外

申請書交付申し込み期間

8月2日～10月14日

申請書および資料提出締切

～10月21日

※資料提出締切後、書類選考を実施し11月下旬に通知。通過者は、当財団アドバイザリー委員会に対しプレゼンテーションを行う（詳細は通過者に連絡）

対象事業：

- 創造環境で新たに必要とされる取組み、**舞台芸術の価値をより多くの人々に理解してもらうための取組み**で、効果を検証できる事業を重視する
- **舞台芸術の観客拡大策**も引き続き募集する。ここでは、動員数の増加、観客層開拓、広報・宣伝方法の開発など、人々が舞台芸術に関心を抱くよう働きかける新しい方法（販売促進、営業方法）およびその効果を検証できる事業を対象とする
- いずれも公演の実施が目的の場合は対象外。**効果の検証を中心に**予算を策定すること。採択された場合は成果を公開し、普及、共有すること

対象事業例：

- ・ 京都国際舞台芸術祭実行委員会 [多様な観客を創造する一英語を活用した“飛び石”プロジェクト]
- ・ 舞台芸術制作者オープンネットワーク（ON-PAM）[舞台芸術の『契約』にまつわる連続講座 2021～持続可能な創造環境に向けて]
- ・ 山吹ファクトリー [コネリング・スタディー観客中心の学習メソッド開発プロジェクト]

助成内容：

企画予算の収支差損を上限に、企画経費の一部に対して助成金を交付（100-200 万円）。希望者には事業の実施会場として森下スタジオを優先貸与する。なお、採択された同一事業の継続申請は 3 年を上限とする（継続の可否は毎年見直す）

提出資料：

- ① 所定の申請書
- ② 申請者の詳しい経歴 （企画の主体となる個人／団体）
- ③ 企画書
- ④ 収支予算明細書

本プログラムに初めて申請する団体は、以下も提出すること

- ⑤ 定款、寄付行為、またはこれらに準ずる規約
- ⑥ 2020 年度分の財務諸表または団体会計規則に基づく収支決算書

-寄付プログラム-

次世代の芸術創造を 活性化する研究助成

次世代の芸術創造を活性化
する提案や政策提言を目的に
した調査研究活動を支援する
助成プログラム

* 過去助成対象者の匿名個人から
当プログラムへの寄付を財源とし
ています。寄付募集当財団へのご
寄付と併せて最終頁をご覧ください

申請書交付申し込み期間

8月2日～10月7日

申請書および資料提出締切

～10月14日

※資料提出締切後、書類選考を
実施し11月下旬に通知。通過者
は、当財団アドバイザー委員
会に対しプレゼンテーションを
行う（詳細は通過者に連絡）

対象事業:

I 現代演劇や舞踊界の創造を持続可能にする構想の提案

現代演劇や舞踊界の持続可能性に対する問題意識を土台にした調査、
研究を行い、その結果に基づいて、舞台芸術界、公的機関、民間団体
へ具体的な構想と戦略を提案する事業

II 文化政策の制度や仕組みの革新を促す政策提言

現代演劇や舞踊、その他の芸術分野に共通する文化政策の制度や仕
組みに関する現状や課題に対する問題意識を土台にした調査、研究
を行い、その結果に基づいて、国や地方自治体等の公的機関や民間
団体へ具体的な政策やプログラムを提案する事業

※提案や政策提言の対象は舞台芸術界、国や地方自治体等の公的
機関、民間企業や財団法人・社団法人、NPO法人かは問わない

※国や地方自治体等公的機関の委託研究や科学研究費助成事業は
対象外。ただし他の補助金や助成金との組み合わせは可

対象者：

下記条件を満たしている個人
やグループ（アーティスト、
制作者、研究者等）、または
芸術団体や文化機関、中間支
援団体等

a.

2022 年 3 月 31 日時点で原
則 45 歳以下、日本に活動拠
点を置くこと（団体で申請す
る場合は、研究事業の代表者
が原則 45 歳以下）

b.

研究経過や成果等の報告をす
ること

※事業対象期間中に研究の成果と提案内容を取りまとめた研究レポート
を提出すること

※研究成果について、学会やシンポジウムなどでの発表、当財団のニュー
ースレターへの執筆などを期待する

助成内容：

1 件につき上限 50 万円（2 件、採択予定）

※申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象外

提出資料：

- ① 所定の申請書
- ② 申請者の経歴
- ③ 研究計画書
- ④ 収支予算明細書
- ⑤ その他、事業に関連する資料（類似研究等の実績が分かる資料）

国際プロジェクト支援

International Projects Support Program

海外のパートナーとの十分な相互理解に基づき実施内容や作品が発展していくプロジェクトを重視。現代演劇・舞踊の国際化を目的とした助成プログラム

申請書交付申し込み期間

8月2日～10月14日

面談期間 ～10月20日

申請書および資料提出締切
～10月21日

対象事業:

- **国際交流事業の実績を持つ個人／団体が主体となっていく共同事業で、中心となるアーティストが固定しており、あらかじめ決定している日本と海外双方の事業パートナーが、計画性をもって複数年（継続して）作業を進展させていくこと**
- 準備段階にあたる会議、シンポジウム、レクチャー、リサーチ、ワークショップから成果発表となる公演等、プロジェクトに関わる全ての段階が対象
- 公演段階での申請は、セゾン・フェローとして助成歴がある、または過去対象事業の継続申請のみ受け付ける
- 移動を伴わない方法（オンライン等）で観客や関係者と創作（過程）を共有する場合には、その手法やその発表方法を選択した意義を提案するような申請を期待する（また公開する機会を必ずつくること）

事業展開例:

- ・ 準備年としてリサーチや滞在制作を経て日本公演後、海外ツアー
- ・ 既に発表した作品をリサーチし直し、発表と複数の派生事業を実施

助成内容:

企画予算の収支差損を上限に企画経費の一部に対して、100 万円～150 万円を上限として、助成金を交付

希望者には公演稽古、ワークショップなど開催の場として森下スタジオ（スタジオ、ゲストルーム）を優先貸与する

※同一事業の継続採択は3年を上限とし、計画された期間内に完結することが望ましい（継続の可否は毎年見直す）

提出資料:

- ❶ 所定の申請書（申請内容を補足する映像資料1作品含む。該当映像が無い場合のみ中心となる構成員の最新作）
 - ❷ 申請プロジェクト全体の企画書（複数年計画を年度別に表記。中心となる構成員の詳細プロフィール、舞台写真、顔写真など含める）
 - ❸ 申請年度（2022年度）の事業収支予算明細（当財団の助成金充当部分分かるように）
 - ❹ 中心となる参加者の協働作業合意書、または受入団体からの招聘状（日付、条件、署名など必須）
 - ❺❻ エッセイ：事業のめざすところを具体的に執筆（各2,000字／日本語以外の原文700ワードには和訳添付）※申請者側およびパートナー側双方から一通ずつ（劇作、演出、プロデュース担当等事業の中核となる人物が執筆）
- ※ 継続申請の場合も、下記❶～❸必須。❹～❻は、更新した情報がある場合に提出

予告：

新規募集については
決定次第ウェブサイト
にてご案内します

セゾン・アーティスト・ イン・レジデンス

Saison Artist in Residence

アーティスト・イン・レジデンスを通じて海外のアーティストや芸術団体と双方向の国際文化交流の活性化を目的とするプログラム

セゾン AIR パートナiership Saison AIR Partnership

ヴィジティング・フェロー Visiting Fellows

オンライン・リサーチ・レジデンシー Online Research Residency

フライト・グラント

海外から公演、アーティスト・イン・レジデンス、コンペティション、会議などに招聘を受けた**舞台芸術界で活動する芸術家、制作者に対して日本国外への渡航費を支援**

招聘されたにもかかわらず、渡航費の手配が間に合わなかったという理由で、貴重な機会を逸することを避けるため、渡航の重要性、緊急性を鑑みて助成します

全プログラム共通 申請概要

注意事項:

- ・ 営利を目的とする活動は、対象となりません
- ・ 地域振興を主な目的とするイベント、活動の対象が特定の観客に限られる事業は対象とならないか、選考の優先順位が低くなります
- ・ 事業に直接必要な経費のみ対象とします。申請者が所属する組織の間接（オーバーヘッド）・管理・共通経費は対象となりません

申請方法:

- ・ 申請を希望するプログラムの対象や条件、必要書類を確認のうえ、「助成申請書」(申請書)をお申し込みください
- ・ 申請書は、要件を満たしている方へ財団事務局より交付します
- ・ 複数プログラムへの併願申請は可能。但し、同一申請者による申請はプログラムにつき一件に限ります
- ・ 締切後、申請書類の追加・変更・返却不可。但し進捗があった場合は、随時最新状況を担当者へお知らせください
- ・ 継続助成をしているプログラムは、毎年継続の可否を見直すので年度毎に申請が必要です（同一事業に対する継続年数上限あり）

※これまで実施された事業報告は、ウェブサイト内 <過去の事業検索>からご参照いただけます

1 「申請書」 交付申し込み

締切: 各プログラム **申し込み締切日** 当日の送信は 23:59 まで

- ・ 次頁に指定する交付申し込み内容に従って、**e-mail にて活動や事業の概要をお送りください**
- ・ e-mail で受付順に交付します。平日 5 日経過しても返信ない場合はお問い合わせください

2 申請面談【ウェブ面談】

期間: 各プログラム **提出締切前日**までの平日(月)ー(金)10:00 ~18:00

- ・ **申請書類完成前**にお越しください
- ・ これまでの活動や申請内容のお話を伺い、また、相談も受けます
- ・ **セゾン・フェロー、サバティカル、国際プロジェクト申請者で初申請、新規事業**または 3 年以上面談を受けていない方を対象とします（面談履歴はご自身でご確認ください）

3 申請書類提出【持参不可】

締切: 各プログラム **提出締切日** 当日の送信は 23:59 まで

- ・ 郵送の場合：
申請書と資料をすべて A4 サイズに統一して同封。申請プログラム名を封筒に朱書きして提出

セゾン・フェロー 申請書交付申し込み

申請書交付は e-mail でお申し込みください

e-mail の件名は「申請書申し込み【希望プログラム名】」
とし、本文に、以下の必要事項を番号順に記載ください

なお、希望プログラム名には「①セゾン・フェローⅠ」
または「②セゾン・フェローⅡ」を記載ください

送信先：apply22@saizon.or.jp

- 1) 申請書を希望するプログラム名
- 2) 本募集また当財団を最初にどのように知ったか
- 3) 申請者名（申請する本人・芸術団体名は併記）
- 4) 申請者住所・電話番号
- 5) 申請書交付先（添付ファイルが受け取れる email アドレス）

6) 面談希望日時

必ず第3希望迄

土日祝日を除く平日 10：00～18：00 で希望する時間帯（最終受付 17：00～）

※いただいた希望のうち 60 分以内で設定

※過去 3 年以内に面談実施済みの場合は不要、空欄に

7) 生年月日 [2022 年 3 月 31 日時点で ____歳]

8) 芸術家としての活動歴

これまでに劇作、演出、振付など創作の構想と実践をした作品のタイトル『 』（3 作品以上）と、今後の主要な活動予定を含めること

+セゾン・フェローⅡのみ

9) 以下のうち該当する項目（1 つ以上）

- ーセゾン文化財団からの助成歴
（芸術団体主宰者として。フライト・グラントは除く）
- ー受賞歴（戯曲賞、振付家賞等）
- ー招聘歴（海外の著名なフェスティバルのメイン部門/劇場から）

他プログラム 申請書交付申し込み

申請書交付は e-mail でお申し込みください

e-mail の件名は「**申請書申し込み【希望プログラム名】**」

とし、本文に、以下の必要事項を番号順に記載ください

希望プログラム名には「③サバティカル」、「④創造環境」、「⑤研究」、「⑥国際」を記載ください

送信先：apply22@saizon.or.jp

- 1) 申請書を希望する**プログラム名**
- 2) 本募集また当財団を最初に**どのように知ったか**
- 3) **申請者名**（サバティカルは本人、事業は代表する個人または団体）
- 4) 申請者**住所・電話番号**
- 5) **申請書交付先** e-mail（添付ファイルが受け取れる e-mail アドレス）

6) 面談希望日時

必ず第3希望迄

土日祝日を除く平日 10：00～18：00 で希望する時間帯（最終受付 17：00～）

※いただいた希望のうち 60 分以内で設定

※創造環境イノベーション、研究助成を希望する方は不要。また過去 3 年以内に面談実施済みの場合は空欄に

7) 申請を希望する**事業概要**（400 字以内）

企画名、企画内容、実施期間、開催地、会場を記載

8) 7) に係わる申請者の**活動歴**（400 字以内）

9) 申請担当者氏名、e-mail、電話番号

※申請事業問合せ先また、採択された際の連絡窓口

選考について

2021 年 11 月以降アドバイザー委員会からの
助言を受けて候補者を選定
理事会で助成採否を決定します

結果通知

2022 年 2 月初旬

採否いずれの場合も通知

※創造環境イノベーション、および研究助成の書類
選考結果通知は 11 月下旬

選考に関する問い合わせはご遠慮ください

選考基準

- | | |
|-----|---|
| 独創性 | 申請者の活動および申請企画が独自性を有し斬新な発想が認められる |
| 将来性 | 申請者または申請事業が長期的展望を有し、その将来性が期待される |
| 適時性 | 活動への助成が申請者の今後の成長・発展にとって新たな契機となることが予想される |
| 影響力 | 演劇・舞踊の分野のみならず、他分野の芸術家の創造性への刺激、また活動/企画が広く社会的影響力をもつことが期待される |
| 実現性 | スケジュールおよび資金の両面において計画が十分に検討されており、実現の可能性が高い |

森下スタジオ

助成が決定した個人・団体・事業のための稽古専用施設

本館に3つのスタジオと、新館に1つのスタジオ、ゲストルーム、ラウンジが隣接しており
スタッフルーム、ロッカールーム、倉庫、シャワールーム、会議室を完備した施設です
ワークショップ、会議、創作過程を発表する会場としてもご活用ください

利用時間： 午前 10 時 ～午後 10 時 >準備・片付けを含む /ゲストルーム利用 >最終日は正午までに退室

休館日： 2022 年 4 月 1 日～4 日、12 月 29 日～2023 年 1 月 3 日、2 月 1 日～3 月 31 日 および臨時休館日

維持費： スタジオ：8,000 円（C）、2,500 円（A,B,S）／一日につき

※コピー機など、一部機材の使用は別途料金が発生します

ゲストルーム： 2,500 円×使用日数(泊数ではありません)／一人につき

※使用日一か月前を過ぎたキャンセルについては使用料が発生します

- 注意事項**
- ・ 使用責任者を設置し、使用規則を厳守すること
 - ・ 催事開催は、有料無料問わずスタジオとの事前打ち合わせ時間を確保すること
 - ・ 空調機器整備のため 2022 年度中は、C スタジオでの臨時興行の受け入れは見合わせる

助成履歴のある方へも貸出

2022 年度中の空き状況は当財団ウェブサイト
内〈森下スタジオ〉および twitter、Facebook
で開示。過去の助成対象者、所定の条件を満た
した個人/団体のみ対象

名称	間口	奥行	高さ	面積	仕様・設備・備品 ※全館禁煙（ただし屋外指定喫煙場所あり）	
A スタジオ [中]本館 1 階	7. 5間 13.5m	4. 5間 8.1m	13. 0尺 3.9m	33. 75坪 109.35 m ²	●スタジオ仕様: ラワン合板床、鏡、レッスンバー ●各スタジオ専用設備: ロッカールーム、スタッフルーム ●共通付帯設備: ・給湯室、トイレ、シャワー ・コピー／FAX(有料) ・飲料自動販売機 ・<u>駐車場(事前申込制)</u> ※各スタジオ音響機材および有料貸出機材について財団ウェブサイト内「森下スタジオ」→「設備詳細」へ	
B スタジオ [中]本館 2 階	7. 5間 13.5m	4. 5間 8.1m	13. 0尺 3.9m	33. 75坪 (109.35 m ²)		
C スタジオ [大]本館 1・2 階	9. 6間 17.4m	7. 6間 13.8m	21. 8尺 6.6m	72. 17坪 (238.56 m ²)		
S スタジオ [小]新館 1 階	6. 2間 11.3m	3. 8間 6.9m	13. 8尺 4.2m	23. 58坪 (77.97 m ²)		
ラウンジ 新館 S スタジオ横	全利用者に稽古以外のフリースペースとして開放					●設備・備品: ・イス・テーブル、ソファ、図書コーナー ・キッチン(事前申込制)
ゲストルーム 新館 2 階	・部屋指定不可 ・<u>長期滞在型家具付レジデンス(清掃等は各自で)</u> ・タオル、アメニティ類なし(調理器具、ベッドリネン有)				ツイン(2-3 名 ×1 部屋) シングル(1 名 ×2 部屋)	●設備・備品 ・ユニットバス ・ベランダ、簡易キッチン ・机、イス、ベッド ・別室にランドリールーム

感染拡大防止策により、一部仕様変更また設備が使えない場合がございます。ご理解とご協力をお願いします

森下スタジオ

〒135-0004 東京都江東区森下 3-5-6

●TEL: 03-5624-5951 受付時間: 午前10時～午後9時(但、休館日を除く)

●FAX: 03-5624-5950

アクセス●都営地下鉄 新宿線、大江戸線「森下駅」A6出口 徒歩5分 (出口左すぐの角を左折し、直進。横断歩道を渡って突き当たり、「山豊護謄」右折すぐ)○東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄大江戸線、「清澄白河駅」A2出口 徒歩10分



募集開始

2021 年 8 月 2 日⑦

「申請書」交付申し込み

9 月 22 日⑧

セゾン・フェロー

10 月 7 日⑨

サバティカル / 研究助成

10 月 14 日⑩

創造環境イノベーション /

国際プロジェクト支援

申請書類提出締切（必着）

9 月 30 日⑪

セゾン・フェロー

10 月 14 日⑫

サバティカル / 研究助成

10 月 21 日⑬

創造環境イノベーション /

国際プロジェクト支援

結果通知

2022 年 2 月初旬

※創造環境イノベーション/研究助成の

書類選考結果通知は 11 月下旬

お問い合わせ

公益財団法人**セゾン文化財団**

財 団 事 務 局 京 橋 事 務 所

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-12-7
京橋山本ビル 4 階

TEL：03-3535-5566

FAX：03-3535-5565

受付時間：月～金/ 10：00～18：00

e-mail：apply22@saizon.or.jp

件名「問い合わせ」

www.saizon.or.jp

twitter.com/SaisonFound

www.facebook.com/thesaizonfoundation

セゾン投信株式会社

東京テアトル株式会社

株式会社パルコ

株式会社良品計画

上記法人賛助会員、また匿名個人の方よりご寄付いただいております。当財団の活動へのご理解、ご支援に深く感謝いたします

●寄付のお願い

当財団の趣旨に賛同し、活動を支援していただける個人・法人賛助会員を募っております。詳細につきましては、下記 URL をご覧ください

<https://www.saizon.or.jp/support>